

～授業研で得た学びを、

日頃の授業に活かせるように～

9月25日(水)、1年生の教室で、国語の物語文『くじらぐも』を題材に、今年度2回目となる研究授業を行いました。このお話は、校庭で体育をしている子どもたちと空に浮かぶ“くじらぐも”の温かい交流を描いたファンタジー教材です。中でも、「ここへおいでよう」と誘った“くじらぐも”に向かってジャンプし、みんなで一斉にとび乗ろうとする場面を取り上げました。子どもたちが1回、2回と繰り返しジャンプし、そしてようやく3回目にやっととび乗ることができます。いずれも、『天までとどけ、1・2・3』という会話文の音読の仕方を軸に考え、物語を想像して読む学習を組むことにしました。

3回繰り返される『天までとどけ、1・2・3』のかけ声の表し方の違いに目を向けて、子どもたちの乗りたい気持ちと“くじらぐも”の乗せたい応援の気持ちとの高まりを、文章事実をもとに想像しました。子どもたちは、先生から受け取ったワークシートに、自分の考えを一生懸命に記入しています。

お話にある“とんだのは、やっと30センチぐらい”“こんどは、50センチぐらいとべました”の文の様子を、先生が準備したものさしで高さを確認しながら、登場人物のように実際にジャンプすることで、3度繰り返される『天までとどけ、1・2・3』の音読の仕方の違いを実感していたようでした。



本授業に向けて、担任が考え作成した指導案を、全職員で2回審議し、さらに教師を子どもたちに見立てて行う模擬授業も行って本番に臨みました。

そして、授業後も全職員で授業について意見交流を行いました。意見交流の中では、教師の子どもへの投げかけ方や時間配分、授業の組み立て方など、さまざまな意見が出され、大変有意義なものとなりました。

このように、ひとつの授業について、全職員でじっくり考えていくことを通した研修は、我々にとって大事なものとなっています。今回得た学びを、次は日頃の授業で生かし、さらによい授業を子どもたちに提供できるよう、努めてまいります。

お世話になりましたー早朝草刈り作業ー

運動会を1か月後に控えた9月29日(日)、早朝7時より草刈りを実施しました。

2学期に入り、運動会に向け、職員や子どもたちで少しずつ校庭の草取りをしていましたが、広い校庭をきれいにするのは、非常に困難です。

この日は、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、校庭をきれいにすることができました。

また、本校は草だけでなく、鹿が運動場に入り込んでいる状況もあります。その状況を知って、地域の中山田さんが柵の取り付けを手伝ってくれるそうで、材料等について助言していただきました。

皆様の温かいご支援・ご協力、大変感謝しております。今週からいよいよ運動会練習が始まりました。気候も随分涼しくなり、運動場での練習も予定通り行うことができそうです。

きれいにいただいた運動場でしっかり練習に励み、保護者や地域の皆様に子どもたちの頑張る姿を、ぜひご覧いただきたいと思います。



子どもたちもがんばりました

別府教育事務所の学校訪問

9月24日(火)、別府教育事務所による第2回目の学校訪問があり、学習や休み時間の子どもたちの様子等をご覧いただきました。

授業では、子どもたちが落ち着いた姿で真剣に学習に向かっている姿や自分の考えをしっかりと伝えている姿をお褒めいただきました。



また、児童会が中心となって行っている、友達の素敵な姿を見かけたらカードに書いて掲示する取組や一人一人の子どもたちの誕生日を祝う掲示も心温まる取組であるということや、休み時間の時に6年生が1年生を褒めていた場面を見ていただいたのか、その姿がまほえましかったというお言葉をいただきました。

教師がいるといないとにかかわらず、このように子どもたちの確かな育ちが認められ、うれしい限りです。

9月6日(金)、第1回学力向上会議、引き続き第2回学校運営協議会を開催しました。

両会議では、学力調査結果や本校の取組について、ご説明しました。委員から、高い点数をとることの意義を子どもが自覚していない様子も見られ、「学びの目的についても、子どもたちに伝えてほしい」という貴重なご意見をいただきました。機会をとらえて、学ぶ意義を考えさせる必要性を感じています。